学校だより １１月号



大阪市立南港桜小学校
令和8年10月30日

「秋冷の候、心豊かな秋の夜長を読書とともに」

木々の葉が鮮やかに色づき、朝夕の寒さに本格的な秋の深まりを感じる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申しあげます。

さて、１１月は「読書週間」が設けられている月です。「読書は心の栄養」とよく言われますが、秋の夜長という言葉通り、涼しく穏やかなこの季節は、夜の静けさの中でじっくりと本の世界に浸るのに最も適した時期です。また、南港桜小学校におきましても、本年度の学校運営の重点課題として、読書活動に取り組んでいます。

読書には、子どもたちの成長において実に多くの素晴らしい効果があります。

第一に、豊かな感性と想像力を育むことです。物語の主人公に共感し、その心情や情景を頭の中で思い描く経験は、自分とは異なる他者の視点や感情を理解する力（共感力）を養います。

第二に、思考力や語彙力の向上です。文字を通じて多くの言葉に触れることで、自分の気持ちや考えを正確に表現する力が自然と身につきます。教科の学習においても、文章を読み解く力はすべての土台となります。

第三に、「心の安定とリラックス効果」です。スマートフォンやテレビなどのデジタル画面から少し離れ、一冊の本と静かに向き合う時間は、情報過多な現代において子どもたちの心を穏やかに整えてくれます。ページをめくる指の感触や、紙の匂いを感じながら文字を目で追う体験は、五感を刺激し、豊かな心を育みます。

とはいえ、「うちの子はなかなか本を読んでくれなくて…」と悩まれている保護者の方もいらっしゃるかもしれません。そんな時こそ、秋の夜長をご家族で活用する絶好のチャンスです。

例えば、テレビやスマートフォンの電源を少し早めにオフにし、親子で並んで読書をする「家族読書の時間」をつくってみてはいかがでしょうか。大人が本を読む背中を見せること、あるいは大好きな絵本や物語を語り聞かせることは、子どもにとって何よりの読書への動機付けとなります。また、読んだ本の内容について「どんなところが面白かった？」と食卓で会話を弾ませることも、読書の楽しさを深める素晴らしいきっかけになります。

この秋、子どもたちが一冊の本との素敵な出会いを果たし、心の世界を大きく広げられるよう、ご家庭でも温かい見守りと環境づくりをお願いいたします。皆様の温かいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

ご家庭での読書タイムについて、お子さんのお気に入りのジャンルや、ご家族で実践されている工夫などがございましたら、ぜひ教えてください。

校長　髙岡繁樹

《11月の予定》

○ 2日（月）おくすり講座6年

○ 4日（水）校外学習2年（住之江図書館）

○ 5日（木）校外学習5年（大阪科学技術館）

○ 6日（金）校外学習6年（ピース大阪・歴史博物館）　非行防止教室5年

人権の花運動1・2年

○ 9日（月）校外学習予備日4年

○10日（火）校外学習3年（長居公園）　租税教室6年　委員会

○11日（水）校外学習1年（海遊館）　フッ化物洗口4年

○12日（木）就学時健康診断（B校時）　4時間授業　（13:15ごろ下校）

○13日（金）校外学習2年（天王寺動物園）

○16日（月）教育アンケート後期　秋探し1年

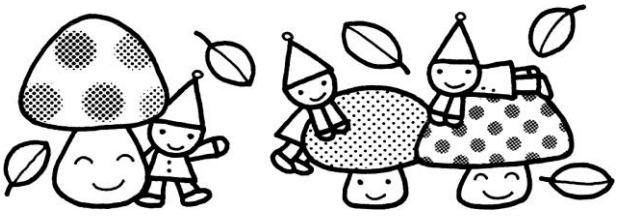


○17日（火）避難訓練（火災）　クラブ

○18日（水）学習参観　なかよし懇談

○19日（木）校外学習予備日3年

○20日（金）出前授業5年（ケーナの演奏会）



○24日（火）クラブ

○25日（水）校外学習5年（アクティオ）

○26日（木）さくらフェスティバル

○27日（金）北中クラブ見学6年　校外学習予備日2年

○30日（月）走れ走れ（15分休憩）（12月11日まで）